

教育委員会会議録（1月定例会）

日 時

令和2年1月23日（木）
午後1時30分から午後2時40分まで

場 所

日立市役所 庁議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	土屋 静治

委員以外の出席者

教育部長	窪田 康德
総務課長	松本 正生
学校施設課長	石川 涉
学務課長	中島 修
学務課課長	鈴木 伸治
生涯学習課長	庄司 和江
スポーツ振興課長	木下 俊雄
指導課長	森山 秀一
指導課課長	稲田 訓子
郷土博物館長	豊田 瑞穂
記念図書館長(兼)視聴覚センター所長	山田 美幸
教育研究所長	小池 洋一
北部学校給食共同調理場長	荒川 敏明
総務課副参事(兼)計画財務係長	酒地 康彦
総務課課長補佐(兼)庶務係長	鷺 秀哉
総務課主幹	吉野 成実
総務課主幹	芳賀 秀人

議 事

報 告

報告第1号 教育委員会12月定例会の会議録について

その他

- (1) インフルエンザ様疾患発生による学級閉鎖の状況について
- (2) 令和元年度小・中・特別支援学校の卒業式の日程について
- (3) 日立市教育プラザの休館日における施設の一部利用の実施結果について
- (4) 2020年日立市成人祝の実施報告について
- (5) 東京2020オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン関連事業の実施について
- (6) 全国大会の出場結果について（明秀学園日立高等学校女子バスケットボール部及びサッカー部）
- (7) 令和2年度「全国学力・学習状況調査」の基本方針について
- (8) 日立市子ども読書活動推進計画（素案）について

会 議 の 概 要

教 育 長 開会の前に、一言御挨拶申し上げます。
この度、令和元年12月25日付けで、教育長の職を拝命いたしました折笠修平でございます。
教育長に就任し、まもなく1か月を迎えますが、その重責を改めて感じている次第でございます。
「ひたらしさ」をいかした教育を推進し、子どもたちのために力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。
本日の定例会から会議を主宰いたします。皆様、御協力をよろしくお願いいたします。

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から教育委員会1月定例会を開会します。
本日は、傍聴希望者が1人おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 1 号 教育委員会12月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第1号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 そ の 他

(1) インフルエンザ様疾患発生による学級閉鎖の状況について

教 育 長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 これまでに学級閉鎖措置を行った学校・幼稚園は、1月17日現在で、小学校は8校、中学校は2校、幼稚園は0園という状況です。

次に、学校・幼稚園における学級閉鎖措置の経過です。12月3日（火）に市内で今季最初の学級閉鎖等の措置をし、現在に至っております。

インフルエンザ予防対策の推進として、昨年12月に市内各学校へ、文書送付を行いました。

市民への情報提供については、市及び教育委員会ホームページにおいて学級閉鎖の状況を掲載し、随時更新しているところです。

インフルエンザを主因とする学級閉鎖等の発生状況については、12月16日から20日の週にピークを迎えてから減少に転じていましたが、1月中旬に再度学級閉鎖が発生してきております。

今週は、市内で4校あり、会瀬小で1クラス、仲町小で1クラス、大沼小で2クラス、久慈小で1クラスとやや増加傾向が見られています。

委員 毎年この時期になるとインフルエンザによる学級閉鎖が発生し、日常の手洗い・うがいを子どもたちへ指導することも一つの有効な方法ですが、やはり最も有効なのはワクチンの接種だと思います。

かつて、学校の中で予防接種を実施していた時期もあったと思いますが、近年は様々な事情により、それぞれの家庭や個人に任せて、医療機関で予防接種を受けるという状況になっているのではないかと思います。

しかし、受けさせたいけれど、事情があって病院に連れていけない家庭もあると思います。

そういうことであるならば、従来どおりとは言いませんが、従来の形で、集団で予防接種を受ける措置を考えてみていいのではないかと思います。

もちろん、アレルギーの問題などもありますので、予防接種が全において有効であるということではありません。受けるかどうかということは、それぞれの家庭で判断してもらうということになりますが、集団で予防接種を受ける機会を学校あるいは公共施設などを利用して作れないかと考えておりますが、いかがでしょうか。

学務課長 以前、学校での集団予防接種が義務化された時期がありました。今から32年前、昭和51年から昭和62年までの12年間です。

委員からもありましたとおり、ワクチン接種した後に高熱を出したり、後遺症を発症したケースもあつたりと、その翌年から保護者の同意を得た希望者のみが集団接種を受けるという形に変更されました。

平成6年には、本人あるいは保護者の意向を尊重した任意での個

別接種となり、集団接種から個別接種となることで、接種医が予防接種を受ける子どもたちの健康状態をあらかじめ把握できるようになりました。

このような経緯によりインフルエンザの予防接種は、学校での集団接種ではなく、現在の個別接種という形になっています。

委 員 現在の子どもたちの接種率はどうなっているのでしょうか。
仮に接種率が低ければ、平成6年当時とは状況も変わっていると思いますので、接種の機会を作るということも検討してみたいかかでしょうか。その辺りのデータも含め、よく御検討いただきたいと思います。よろしくお願いします。

学 務 課 長 接種率については申し訳ございませんが、手元にデータがございませんので、後ほど調べて御提示したいと思います。御意見ありがとうございます。

委 員 委員のおっしゃるとおり、接種の機会であるとか形を変えることがすごく大事だと思っています。
去年は麻疹が流行し、今は中国からの肺炎が心配されてます。ほぼウイルスの持込みのような形になっており、いつ、どこで、どのように発生するか分からない状況です。
国や県から指針が出るとはと思いますが、どのように対策すれば感染を最小限に食い止められるか、インフルエンザが一番身近な機会だと思いますので、教育委員会という枠組みを超えて、日立市として検討していただければと思います。

(2) 令和元年度小・中・特別支援学校の卒業式の日程について

教 育 長 それでは次に、その他(2)について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 今年度の各校の卒業式の日程について御案内します。
中学校は、令和2年3月12日(木)、日立特別支援学校中等部・高等部は3月11日(水)です。
小学校は、令和2年3月19日(木)、日立特別支援学校小学部は3月18日(水)です。

(3) 日立市教育プラザの休館日における施設の一部利用の実施結果について

教 育 長 それでは次に、その他(3)について、生涯学習課長から説明をお

願います。

生涯学習課長 学習意欲の高い中高校生の学習環境を維持するため、昨年度に続いて、本来休館日であった12月28日、29日及び1月4日について、1階の学習室を午前9時から午後5時まで利用可能としたものです。

結果としましては、12月の土・日曜日と同程度の利用があり、学習環境を維持することができたものと考えております。

学習室の席数は44席で、ほぼ満席に近い日もありました。

利用者数は、3日間合計107人で、昨年度の約2倍という結果になりました。また、1日当たりの利用者数は延人数平均53人で、12月の土・日曜日の利用平均とほぼ同数となりました。

利用者数の内訳を見ますと、高校生が83.2%で最も多く、うち、日立第一高等学校及び明秀学園日立高等学校の生徒が88.8%を占めていました。小・中学生も、ほぼ近隣の学校の児童生徒が利用していました。

来館された方に利用者アンケートを取らせていただきました。学習室を利用する理由として、「勉強に集中できるから」、「学校が近いから」が多く挙げられております。

利用頻度は、「毎日」又は「週2～4日」を選んだ方が多かったという状況で、日常的に継続して利用されている方が多かったことが分かりました。

また利用希望日についても、年末は「12月31日まで」を希望する方が42.9%おり、これも継続的、日常的に利用されていることが理由ではないかと思えます。

今後の方向性ですが、今回の利用者数の増加やアンケート結果を踏まえまして、来年度の年末年始も利用可能とする方向で検討するとともに、地域バランスを考慮して、教育プラザ以外での実施についても検討して、引き続き学習環境の維持に努めてまいりたいと考えております。

委員 今後の方向性の中で、教育プラザ以外での学習環境の維持について検討するとありました。

今回教育プラザでは遠くて行けなかったという方もいると思いますので、各地域に一つ学習室があると利用者の方はありがたいと思います。ぜひよろしくお願ひしたいと思えます。

生涯学習課長 今回の実施で2年目となりますが、利用者数が増えているという状況や、利用者を見ますと地域の偏りが見られますので、引き続き実施するとともに、各地域で教育施設を活用しながら実施できるよう検討していきたいと考えております。

(4) 2020年日立市成人祝の実施報告について

教 育 長 それでは次に、その他(4)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 教育委員の皆様におかれましては、寒い中、成人祝に御臨席賜り誠にありがとうございました。

最終的な対象者は、11月1日現在の住民基本台帳登録者数が1,880人、登録外の方で日立市の成人祝に参加したいという問合せ等により案内状をお送りした方が228人、合計2,108人でした。

参加人数は1,603人で参加率は76.0%と、昨年を2.4ポイント上回っております。

内容は、実行委員の進行により記念式典を開催し、その後、アトラクションとして、東京ディズニーリゾートのチケットやギフト券を景品とした抽選会を実施しました。その後、出身中学校別に、恩師と記念写真撮影を行いました。

池の川さくらアリーナで行いましたのは、今回で3年目となりましたが、屋内のため天候の心配もなく、暖かい中で実施できたこと、落ち着いた雰囲気の中で式典を進行できたことなど、屋内を会場としたことのメリットは大きかったと感じております。

ただし、今回は昨年に比べ、新成人及び御家族の来場が多かったため、着席できない方が多く見られましたので、今回は座席の割振りなど対応の必要性を感じたところです。

また、記念写真の撮影ですが、動線を確保したことや、会場の内外で40人を超える警察官が警備に当たったことから、大きなトラブルもなく終了することができました。

なお、出身中学校ごとに撮影した写真は、出席者へお送りする予定です。

(5) 東京2020オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン関連事業の実施について

教 育 長 それでは次に、その他(5)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 まず、ホストタウンの登録ですが、昨年末12月27日にホストタウン第17次登録として、本市を含む13団体がホストタウン登録されました。本市はこの度、ロシアを相手国とした登録になりま

す。

ホストタウン事業の目的としまして、事前キャンプを実施する国と友好を深めるため、歓迎・交流イベントを企画し、オリンピック終了後も交流が続くことを目指しています。

事業展開として、スポーツ振興課を中心に、庁内の関係各課、庁外の関係団体等との連携により事業を推進してまいります。

次に、事業案です。事前キャンプでおいでになれる選手・コーチ等との交流事業や公開練習、あるいはスポーツ部門だけではなく、市民対象のロシア体験などの事業を実施してまいりたいと考えております。これらの内容は、来年度予算が確定してから詳細を詰めてまいります。

今回はロシア対象のホストタウン登録でしたが、サーフィン競技のニュージーランドチームに対しても、事前キャンプの実施について呼び掛けております。

今のところ、基本合意書の取り交わしまでは進んでおりませんが、日立市で事前キャンプを実施したいという意向は示されておりますので、今後、基本合意書の取り交わし、ホストタウン登録事務を進めてまいります。

(6) 全国大会の出場結果について（明秀学園日立高等学校女子バスケットボール部及びサッカー部）

教 育 長 それでは次に、その他(6)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 年末年始に行われました全国大会の出場結果について御報告いたします。

まず、明秀学園日立高等学校の女子バスケットボール部です。全国高等学校バスケットボール選手権大会に4年ぶり24回目の出場となりました。残念ながら2回戦で大阪薫英女学院に敗れてしまいましたが、年の終わりに十分な健闘をしていただいたと思います。

続きまして、同じく明秀日立高校のサッカー部です。全国高等学校サッカー選手権大会3年連続4回目の出場となりました。茨城県内において3年連続という出場実績は初となります。こちらも惜しくも2回戦で神戸弘陵に敗れたという結果となりました。

また、先日1月19日には、広島市において全国都道府県対抗男子駅伝が行われ、茨城県チームは大会新記録であるとともに、過去最高成績となる6位に入賞しております。その7人のメンバーのうち滑川中学校3年の根本さん、日立工業高校3年の赤津さん、この

2人が日立市出身で、6位入賞の大きな力となったことが考えられます。

(7) 令和2年度「全国学力・学習状況調査」の基本方針について

教 育 長 それでは次に、その他(7)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 まず、調査の概要についてです。

調査対象は市内小学校6年生、中学校3年生の悉皆調査になります。調査実施日は令和2年4月16日(木)です。

調査実施の主な目的について、一つは各学校において、調査結果を分析し、成果と課題を明らかにすることにより、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に活用すること、もう一つは、教育委員会において、学校の取組に対して必要な支援を行うなどにより、日立市の教育及び教育施策の改善に活用すること、以上2点です。

続いて、調査事項です。児童生徒に対する調査においては、教科に関する調査(国語、算数・数学)と学習意欲、学習方法等に関する質問紙調査の2つです。学校に対しては、指導方法、人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査です。

次に、本市としての方針についてです。

調査結果の取扱いについては、本調査の目的が、教育施策の改善や授業の改善を行い、子どもたち一人一人に確かな学力を身に付けさせることであることを踏まえ、次の3点を公表します。「日立市教育振興基本計画に定めた目標指標(算数・数学の授業がよく分かる割合)の経年変化」、「教科に関する調査の結果分析により把握した成果」、「課題、改善策等、質問紙調査の結果」です。

また、教科に関する調査の平均正答率については、公表することにより本来の調査目的が損なわれるおそれがあること等により、公表しないものとします。

調査結果の活用については、教職員一人一人の授業実践の向上を図ること、各学校での好取組を共有し、日立市全体のレベルアップを図ること、新学習指導要領が目指す学び方、育成すべき資質・能力についての教員の課題意識を高めること等に活用してまいります。

委 員 まず要望です。

日立市としての方針の中にありました「教科に関する調査の平均正答率については、公表しないものとする。」は例年変わらないところではありますが、来年度もぜひこれを守っていただきたいと思

います。

もう一つの要望として、経年変化についてです。先程の説明の中にあつたものは限られたもののみの経年変化でした。学力向上をうたっていますので、ぜひ10年ぐらいの長いスパンで、日立市内の平均的な正答率の経年変化を、公表はせずとも各学校ぐらには示していただき、学力向上がどの程度進んでいるか私たちにもお示しいただければと思います。

次に質問です。

昨年12月にOECDのPIISA調査の結果が公表されました。OECD加盟国37か国において、日本は数学と科学は上位に位置しておりますが、読解力の順位が前回から比較すると落ちています。

現在、読解力が重要視されている中で、調査の結果ではありますが、日本が落ちているという実態をどう捉えているのか、日立市としては、PIISA調査の結果は別としてしっかりと取り組んでいく必要があると思いますので、読解力低下への対応策について、考えているところがあればお聞かせいただきたいと思います。

指導課長

まず経年変化に関する御要望については、学力向上に力を入れ、成果も上げておりますので、その現状に満足することなく、経年変化を詳細把握して、どういったところが課題なのか、課題に対してどのように解決していくのか、各学校でも行っていただき、指導課においても各校間で格差が生まれないように指導していきながら、委員の皆様にもお示しできるように進めてまいります。

読解力に関する御質問ですが、委員のおっしゃるとおり、読解力、読むことは、茨城県においても、日立市においても課題となっています。

実際のところ、国語が読解力の中心教科になりますので、国語での指導の充実を図っているところです。県の事業ではありますが、本市においてはこの2年間、読む力を高めるところに重点を置いた「授業力ブラッシュアップ研修」において、宮田小学校、久慈中学校の2校を重点校として研修会を行っています。ちなみに、こちらを県北で実施しているのは本市のみです。

年2回授業発表会を行い、市内各校の担当教員を集め、それぞれの学校の取組、課題、改善策等を共有しながら、また、重点校での授業力向上についての発表を見て、教員がお互いどのように授業力を高めていくか研修を行っています。

当然この授業には、文部科学省の調査官や県の指導主事が来て、的確な助言をいただいておりますので、それを各校で活用している現状にあります。具体的には、宮田小と久慈中において、多様な文章を読んで考えていることを話し合ったり、文章にまとめたりする

などの言語活動の充実、文章を正確に理解するために必要な語彙をしっかりと身に付ける、これらを重点的に取り組んでいます。

昨年12月3日に国から出されたPISA調査の報告書の中では、読書を肯定的に捉える生徒、本を読む頻度が高い生徒の方が読解力の得点が高いとあります。

中でもフィクション・ノンフィクション、新聞をよく読む生徒の読解力の得点が高いとありますので、これまで同様学校図書館の機能の充実についてもしっかりと取り組み、読書習慣の形成と読書の質の向上を図っていきたいと考えています。

また、新聞を授業などに活用する「NIE」についても効果があるという指摘がありますので、そちらについても推進してまいりたいと考えております。

参考までに、今年度の全国学力・学習状況調査における国語の読む領域において、日立市は小学校も中学校も国・県の平均を上回っております。特に中学校については、大きく上回っておりますので、本市で取り組んでいる成果が出てきているのではないかと考えております。

委員 ありがとうございます。

今の説明で、日立市の学校で頑張ってもらってる様子が分かりました。引き続きよろしくお願いします。

読書については、日立市の子どもたちは比較的好きな傾向にあると思いますが、それが読解力に結びついているのかどうか、その辺りが課題になるのかなと思います。

逆に、ゲームに時間を費やしてしまっているなど、本離れの傾向もない訳ではないので、ぜひ対応策も考えていただけたらと思います。

(8) 日立市子ども読書活動推進計画（素案）について

教育長 それでは次に、その他(8)について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 12月の教育委員会協議会において御説明させていただきました素案について、一部修正を行い、更に各施策における主要な取組を加えましたので、御説明いたします。

まず表紙ですが、子どもの読書計画ですので、より親しみやすくなるよう「ひたちっ子わくわく読書プラン」というサブタイトルを付けました。昨日開催した当計画の策定委員会の中で、委員から「つながる ひろがる」という言葉を付けた方が、より計画の内容につ

なगरのではないかという意見がありますので、その表現を用いたタイトルを現在考えているところです。

続いて、内容についてです。

計画の基本理念を「読書ではぐくむ豊かな心」としました。日立市教育大綱、日立市教育振興基本計画の基本理念である「未来を拓く人づくり」の実現に向けて、子どもたちが本に触れ、言葉を学び、感性を磨き、読解力や表現力を高め、想像力を豊かなものにする環境を整備していきます。

次に、計画の推進テーマです。「小・中・特別支援学校の読書活動の推進と学校図書館の環境整備」、「幼児施設における読書活動の推進と保護者への啓発」、「図書館・家庭・地域における読書活動の推進と環境整備」の3つを掲げました。

次に、施策の体系図です。基本理念、推進テーマ施策の柱を図にして体系的に表しました。次のページではイラストで表現しています。

次に、施策の展開です。

1つ目のテーマ「小・中・特別支援学校における取組」では、「子どもたちの教育環境の差の広がりが懸念される」など、表現を整理しております。

続いて、具体的な取組について説明します。3つの施策の柱ごとに主要な取組を記載しております。主なものを紹介します。

「施策の柱1 学校図書館の整備・充実」です。「施策1-① 学校図書館の読書・学習・情報の各センターとしての機能の充実」では、「No.1 学校図書事務員の全校配置」や「No.2 蔵書の整備」があります。

続いて、「施策の柱2 主体的な読書習慣の形成」です。「施策2-② 子ども主体の取組の推進」では、「No.8 各校におけるNIE教育の推進」、「No.9 図書委員会の活性化」などの取組を行います。

続いて、「施策の柱3 学校図書館の体制づくり」です。「施策3-① 職員の人材育成」では、「No.10 司書教諭・学校図書事務員の研修の充実」、「施策3-② 子ども読書活動推進センターとの連携」では、「No.12 子ども読書活動推進アドバイザーによる助言・指導」などを挙げました。

このテーマにおける5年後の目標値として、1学級が学校図書館の図書又は学校図書館を授業時に利用する回数を年6回としました。「1学級」と明確にすることで、学期に2回は利用していただきたいことから年6回と設定しました。

また、子どもたちがこの計画によってどのように変わったかを表す指標として、全国学力・学習状況調査の調査項目である「読書が好きである。」と答えた児童生徒の割合を入れ、年1%、5年で5%

の増を目指して設定しています。

次に、2つ目のテーマ「幼児施設における取組」についてです。

まず、「施策の柱1 幼児施設における環境づくり」です。「施策1-① 幼児施設における読書活動の充実」では、「No.13 読書環境の整備・充実」として、図書館と連携して絵本コーナーの充実を図るものを主な取組としています。「施策1-② 図書館との連携による読書活動の充実」では、「No.16 読書環境の充実」として、移動図書館や団体配本を活用し、読書環境の充実を図ることとしています。

続いて、「施策の柱2 保護者への啓発」です。「施策2-① 読み聞かせ活動の啓発」では、「No.18 保護者への子ども読書活動の啓発」として、園だよりによる情報発信や保護者への絵本の貸出などを行い、保護者に対し子どもへの読み聞かせの重要性を啓発します。

続いて、「施策の柱3 職員による取組の推進」です。「施策3-① 幼稚園教諭、保育士等への支援」では、「No.19 幼稚園教諭、保育士等の研修の充実」を図るため、図書館司書等による読み聞かせの研修会を開催します。「施策3-② 子ども読書活動推進センターとの連携」では、「No.20 子ども読書活動推進アドバイザーによる助言・指導」として、アドバイザーの対象範囲を幼児施設に拡充して読書に関する助言支援を行い、幼稚園教諭や保育士等への発達段階に応じた読み聞かせの実施や技能の向上を図りたいと考えております。

このテーマにおける5年後の目標値は、絵本を活用した保育方法の研修会の実施を年3回、図書館からの幼児施設への団体貸出の増として、5年後には公私立全園に各1回団体貸出を行うことを目標としています。

次に、3つ目のテーマ「図書館における取組」についてです。こちらでは、学校や幼児施設、交流センターなどへの支援を行う読書活動の中核施設として図書館を位置付けました。

まず、「施策の柱1 図書館における子ども読書活動の推進」です。「施策1-② 読書に親しむ機会の充実」では、「No.23 読書に親しむ機会の提供」として、ブックスタートパックの配布の充実や移動図書館の拡充などを挙げています。

続いて、「施策の柱2 家庭における子ども読書活動の推進」では、子どもたちに自主的な読書をする習慣を身に付けさせるためには、最も身近な保護者と共に読書を楽しむ等、子どもたちが乳幼児期から本に親しめる環境の中で育まれることが重要である等の説明を記載しています。

「施策2-① 家庭における読書の普及促進」では、「No.29 本に親しむ機会の提供」として、ブックスタート事業の充実やセカン

ドブックスタート事業の実施など、「No. 30 読書活動の啓発」として、地域情報アプリ「ひたちナビ」との連携を挙げています。

続いて、「施策の柱3 地域における子ども読書活動の推進」です。「施策3-① 交流センター等と図書館との連携」では、「No. 31 交流センター・子育て支援施設等の図書コーナーの充実」のため、団体配本等の充実をはじめとした地域における読書活動の推進を図ります。

このテーマにおける5年後の目標値としましては、ブックスタートパックの配布率の向上として5年後に90%とすることを目指しております。また、移動図書館の夏休み児童クラブへの巡回数を5年後には年2回とすることを目標としています。

次に、パブリックコメントの実施についてです。

いま御説明しましたとおり素案がまとまりましたので、パブリックコメントを実施いたします。

実施期間は、1月29日(水)から2月7日(金)までの10日間です。

実施方法は、教育委員会指導課、各図書館、各支所、各交流センターに素案を配架します。また、教育委員会と図書館ホームページに素案を掲載します。

広報については、1月20日号の市報に当パブリックコメントに関する記事を掲載しており、教育委員会及び図書館ホームページには1月29日付けでページをアップする予定です。

今後、パブリックコメントの意見を踏まえ素案を修正し、2月13日に第5回の策定委員会を開催し、2月の教育福祉委員協議会で協議、2月26日の定例教育委員会に最終の計画案を御提示したいと考えています。

教 育 部 長 補足説明をさせていただきます。

本日お配りした素案は、前回の教育委員会協議会で説明した部分から大きく3つの変更点がございます。

まず1点目として、目指す児童生徒の姿と5年後の目標値を設定したことです。

2点目として、全ての教科・授業で活用しやすい図書の整備・充実を推進すること、全ての学力の基盤となる語彙力・読解力を育む読書の大切さを理解することを明記し、国語に限らず、算数・数学、社会などでも語彙力・読解力が大切であるという認識を具体的に示しました。

3点目としては、計画の推進体制として、毎年度、日立市子ども読書活動推進協議会において、各事業の進捗状況について点検と評価を行い、計画の着実な推進を図ることを明記したことです。

現計画の冊子は、各学校2冊ずつの配布となっておりますが、今

回策定する計画は、例年配布している「日立の学校教育」と同様に、全ての先生方に1冊ずつお配りすることを想定しています。

委員 まず、感想です。

今回第三次計画ということで、非常にきめ細かな計画を立てられており、先程の指導課からの説明にもありましたが、国語の読解力という面では、既に日立市では成果が出ているということに結び付いているのかなと思います。

国の法律ができた当初から、日立市は割と早い段階で子ども読書活動推進計画を立てられました。現在になって、ようやくどこの市町村でも計画ができてきた状況ではないでしょうか。

次に要望ですが、茨城県においても子ども読書活動推進計画が策定されていて、いろいろな取組がされており、実は学校現場では、県の事業の方がよく浸透しています。

例えば、県の事業に「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」というものがあり、現場の先生方はそちらの方によく取り組んでいらっしゃる印象があります。小学校4年生から6年生までは、年間50冊、中学生は年間30冊以上読めば県教育長表彰が、更に読むと知事表彰を受けられるものです。

調べたところ、平成30年度に50冊以上本を読んだ小学生は、76%という数字が出ており、成果は出ていると思います。

関連する計画との整合性を図るという記載もこの素案にありましたので、県の計画についても取り込んではどうかと思います。うまくタイアップしながら、市と県両方一緒に進めていった方が、成果が出るとは思いますし、学校現場でも受け止めやすいかなと思います。

また、読書活動で効果があるのは、朝読書であると考えています。学校現場でも朝読書を行っているところは結構あるのではないかと思います。15分から20分程度だとは思いますが、子どもたちがそれぞれ本を用意して、先生も一緒に読書をしていますし、そういう時間を経て授業に取り組むということで、なかなか成果は出ているようです。

朝の読書推進協議会が今年の1月6日に発表したデータにおいて、茨城県の朝読書実施率は77%でした。このように成果が出ておりますので、朝読書についても計画の中に入れていただければと思います。

最後に質問なのですが、5年後の目標値の中に、「読書が好きである。」と答える児童生徒の割合があり、平成30年度が小学校で79.3%、中学校で70.9%とありますが、今年度はこの数値を達成できたのかどうか教えてください。

指導課長 今年度の「読書が好きである。」と答えた児童生徒の割合について、手元に細かい数値データはございませんが、平成30年度の日立市の数値は、国・県どちらの平均値も上回っていることについては確認しております。

委員 学校の蔵書について質問です。
学校の図書室にある図鑑などは、すぐ古くなってしまいう印象があり、学校訪問の際に図書室を見させていただくと、古くなった図鑑がずらっと並んでいます。
古くなった図書をどのように取り扱うか、更新頻度などについて、教育委員会として何か示されているのですか。

指導課長 基本的に古い図書は廃棄を検討することになりますが、廃棄してしまうと新しい図書を入れる予算が必要となるため、その辺りに大変苦慮しているのが現状であると捉えています。

委員 古くなった場合は、学校司書の方の采配で更新しているということになるのでしょうか。

指導課長 毎年、学校に対して予算を示していますが、その予算の中で学校として必要なものを挙げていただき、こちらで集約をしていますが、なかなか全ての要望にそのまま対応することができず、数年間に分けて計画的に対応しているところです。

学校施設課長 図書整備費用は学校施設課で把握しています。
古い蔵書については、毎年相当数が廃棄になっている部分がありますが、その中でも学校図書館の標準冊数というものが設定されており、学校によってはその冊数を下回ってしまうところもあります。
それを解消するために子ども読書活動推進事業費を組んでおり、概算ですが、小学校1校当たり約40万円、中学校1校当たり約25万円を配当し、学校で必要な図書を購入していただくということを毎年行っております。
なかなか財政上厳しいところはありますが、予算をしっかりと確保して、図書の充実に努めていきたいと考えております。

教育部長 今回策定する計画の中にも、図書館との連携について記載があります。1校当たりの図書購入費が40万、25万というのは決して多くはありません。
一方で、日立市が他市にない特徴として、市立図書館が4館あります。団体配本や貸出等の事業について一層充実していく旨計画に

記載してまいります。

図書館が購入する本の中でも、主に学校で使える本の枠を設けるという予算の使い方もあると思います。これらの部分も踏まえながら引き続き計画を検討してまいります。

委 員 この計画とは少し離れる内容かもしれませんが、日立市では学校図書館に図書事務員を配置していただいております、非常にありがたいことです。

学校訪問の際は図書館を必ず見ますが、とても環境が素晴らしいです。これは図書事務員の方と、多賀図書館に配置されている子ども読書活動推進アドバイザーとの連携によって、学校図書館の在り方をしっかり研究した成果が出ていて、そして子どもたちも読書に親しみやすいような環境になっていると思います。

来年度以降の話ではありますが、財政面において、引き続き、図書事務員と子ども読書活動推進アドバイザーの確保をお願いしたいと思います。

4 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和2年2月26日（水）午後2時30分から、日立市役所4階庁議室で開催予定です。

5 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会1月定例会を終了します。

以 上

: